

災害時におけるラジオ局との連携協力について



令和4年12月5日

神奈川県くらし安全防災局危機管理防災課

- 1. 神奈川県 of 自然災害のリスク**
- 2. 神奈川県 of 防災体制**
- 3. 神奈川県における防災情報の発信**
- 4. 神奈川県におけるラジオの活用について**
- 5. ラジオの有効性について**
- 6. ニッポン放送、エムエムネットワークとの協定について**
- 7. 今後のラジオに期待すること**

1 神奈川県 naturally 災害のリスク



神奈川県

- **人 口** 923万2,794人(令和4年10月1日現在)
- **世帯数** 430万8,715世帯
- **特 徴**
 - ・ **人口は全国第2位**
 - ・ **横浜市をはじめとする大都市がある一方、西部には箱根、丹沢の山々が連なり、南部には相模湾(湘南海岸など)、東部は東京湾に面していて、豊かな自然があるところ**
 - ・ **鎌倉幕府が開かれた土地**

1. 神奈川県自然災害リスク 地震

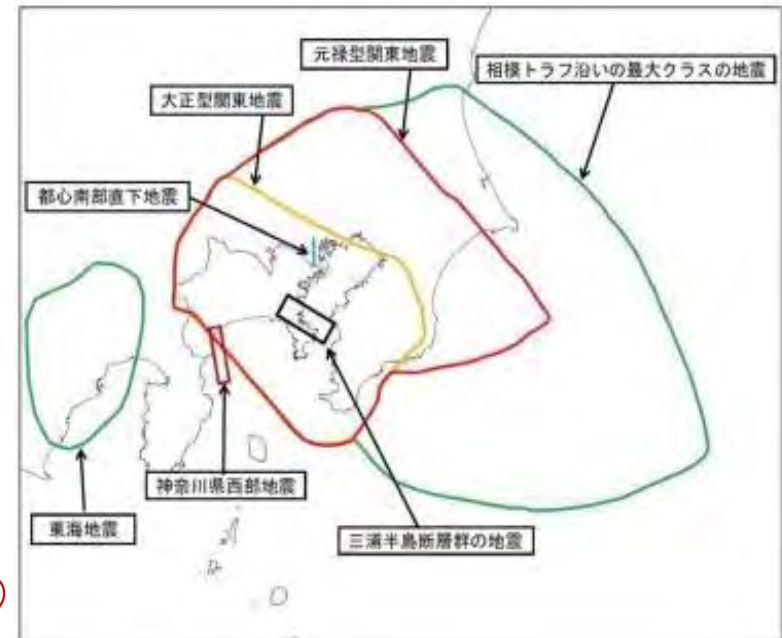
■ 神奈川県地震被害想定調査 (H25・H26)

● 対象地震

- (1) 都心南部直下地震
- (2) 三浦半島断層群の地震
- (3) 神奈川県西部地震
- (4) 東海地震
- (5) 南海トラフ巨大地震
- (6) 大正型関東地震

※以下は参考地震(発生確率が極めて低く、超長期的対応)

- (7) 元禄型関東地震
- (8) 相模トラフ沿いの最大クラスの地震
- (9) 慶長型地震(津波のみ)
- (10) 明応型地震(津波のみ)
- (11) 元禄型関東地震と国府津-松田断層帯の連動地震(津波のみ)



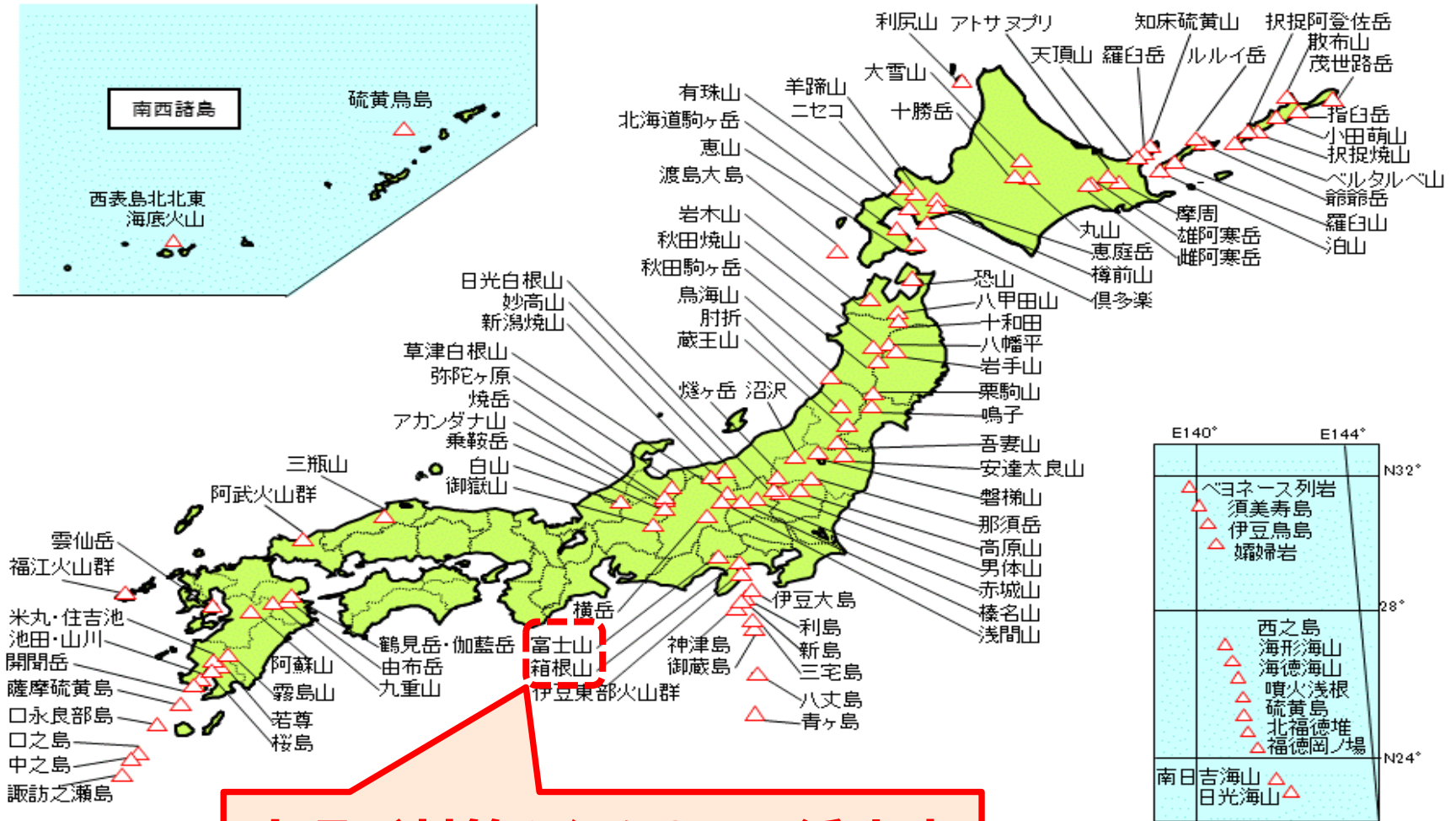
1. 神奈川県における自然災害リスク 地震

想定地震	人的被害 (人)	建物被害 (棟)	火災焼失 (棟)	経済被害 (兆円)
都心南部直下 地震	死者 2,990 重傷者 13,390	全壊 64,500 半壊 221,250	37,600	15.1
三浦半島 断層群の地震	死者 1,130 重傷者 5,400	全壊 22,710 半壊 88,170	11,980	5.1
神奈川県西部 地震	死者 880 重傷者 900	全壊 5,000 半壊 20,530	710	0.9
東海地震	死者 820 重傷者 380	全壊 3,620 半壊 14,450	0	1.0
南海トラフ 巨大地震	死者 1,740 重傷者 530	全壊 7,360 半壊 20,110	0	1.4
大正型関東地震	死者 31,550 重傷者 56,200	全壊 393,640 半壊 410,160	169,780	48.9

※重傷者については、従来の定義の負傷者数

1. 神奈川県自然災害リスク 火山

我が国の活火山の分布



本県が対策を行う2つの活火山

1. 神奈川県 naturally 災害リスク 風水害

■ 相次ぐ風水害(全国)

・2011(H23)年	3月	東日本大震災(死者約22,000人)
	8~9月	台風12号 紀伊半島で豪雨(死者98人)
・2013(H25)年	10月	台風26号 伊豆大島で土石流(死者43人)
・2014(H26)年	8月	広島土砂災害(死者76人)
	9月	御嶽山噴火(死者63人)
・2015(H27)年	9月	関東・東北豪雨 茨城県常総市等(死者8人)
・2016(H28)年	4月	平成28年熊本地震 震度7が2回(死者64人)
	8月	台風10号 岩手、北海道等で豪雨(死者27人)
・2017(H29)年	7月	九州北部豪雨(死者44人)
・2018(H30)年	1月	草津白根山噴火(死者1人)
	7月	平成30年7月豪雨・西日本豪雨(237人)
	9月	北海道胆振東部地震(死者41人)
・2019(R元)年	9~10月	令和元年房総半島台風・東日本台風(死者107人) ※「死者」には行方不明、災害関連死を含む
・2020(R2)年	7月	令和2年7月豪雨(死者84人)
・2021(R3)年	7~8月	令和3年7月(熱海市土石流)・8月大雨(死者40人)
・2022(R4)年	3月	福島県沖を震源とする地震(最大震度6強)
	6月	石川県能登地方を震源とする地震(最大震度6弱)

1. 神奈川県での自然災害リスク 風水害

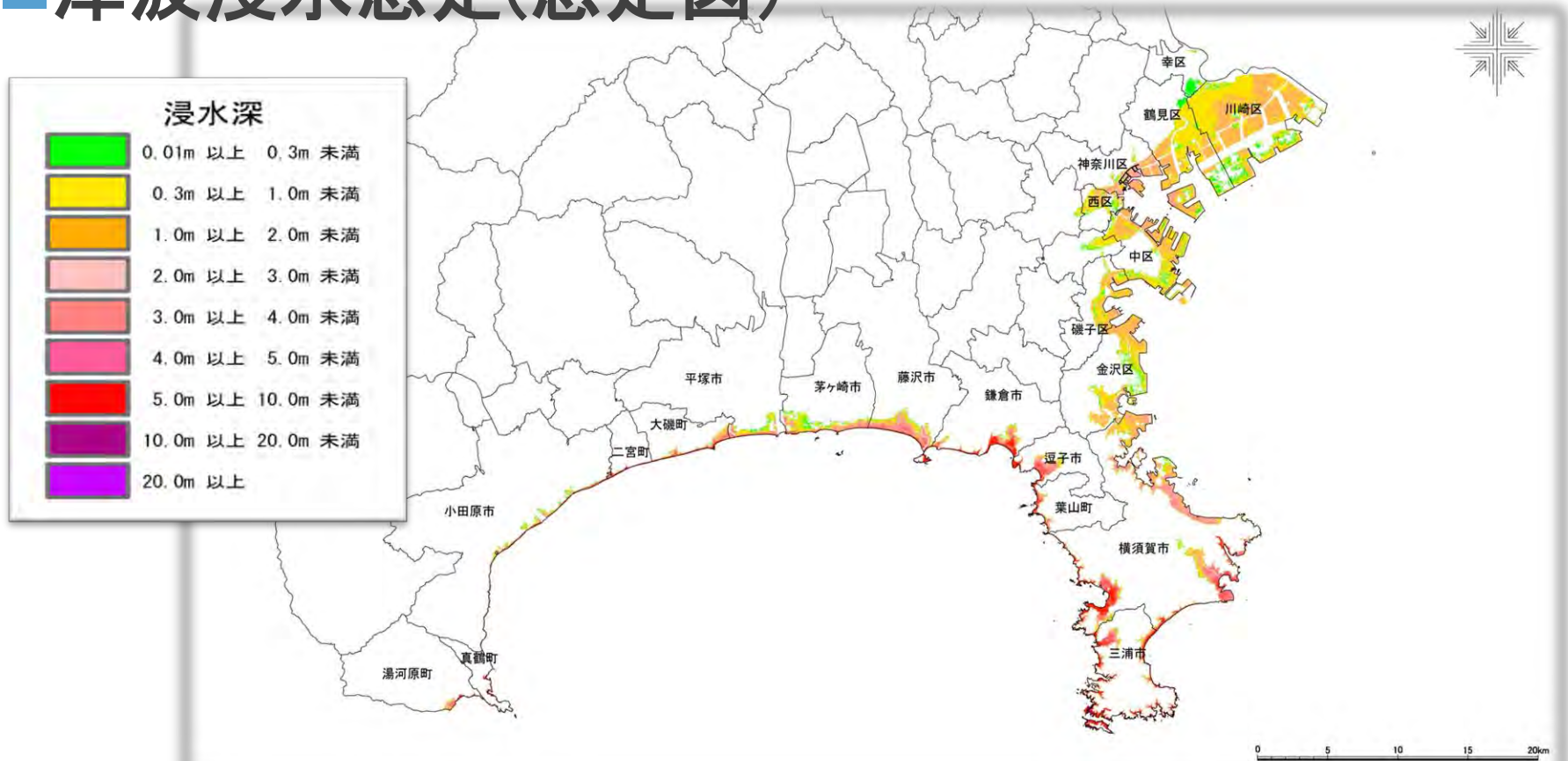
	令和元年房総半島台風 (台風第15号 9/8～9)	令和元年東日本台風 (台風第19号 10/12～13)
人的被害	重傷3名 軽傷10名	死者9名 重傷3名 軽傷32名
建物被害	全壊11棟 半壊98棟 一部破損 3,475棟 床上浸水58棟 床下浸水29棟	全壊56棟 半壊831棟 一部破損2,597棟 床上浸水877棟 床下浸水579棟
災害救助法	適用なし	川崎市、相模原市、平塚市、小田原市、 茅ヶ崎市、秦野市、厚木市、伊勢原市、海 老名市、座間市、南足柄市、寒川町、大井 町、松田町、山北町、箱根町、湯河原町、愛 川町、清川村 (11市7町1村に適用)
被災者生活 再建支援法	横浜市 (1市に適用)	横浜市、川崎市、相模原市 (3市に適用)

1. 神奈川県 of 自然災害リスク 風水害

狩野川台風 (S33.9)	山北災害・土石流 (S47.7)	七夕豪雨・横須賀市がけ崩れ (S49.7)
<p>■ 気象概要 (S33年9月27日未明)</p> <p>台風第22号と秋雨前線による豪雨</p> <p>日降雨量287.2ミリ(横浜市)</p>	<p>■ 気象概要 (S47年7月11～12日)</p> <p>総降雨量</p> <p>529.5ミリ(山北町三保小学校)</p> <p>506ミリ(山北町玄倉)</p> <p>※時間最大86ミリ</p>	<p>■ 気象概要 (S49年7月8日未明)</p> <p>梅雨前線に伴う豪雨</p> <p>総降雨量:250ミリ(横須賀市)</p>
<p>■ 被害状況(県内)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・死者93名 ・負傷者142名 ・全壊321戸 ・床上浸水16,991戸 ・その他 <p>道路や橋梁等多数流出</p> <p>山(がけ)崩れ:800箇所以上</p>	<p>■ 被害状況(山北町)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・死者4名 ・行方不明者5名 ・重軽傷者24名 ・全半壊等 335戸 ・その他 <p>道路や橋梁等多数流出</p> <p>山崩れ・がけ崩れ:299箇所</p>	<p>■ 被害状況(横須賀市)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・死者13名 ・重軽傷者22名 ・全半壊等220戸 ・浸水家屋6,926戸 <p>※併せて平作川が氾濫</p> <p>がけ崩れ:1,610箇所</p>

1. 神奈川県 of 自然災害リスク 津波

■ 津波浸水想定(想定図)

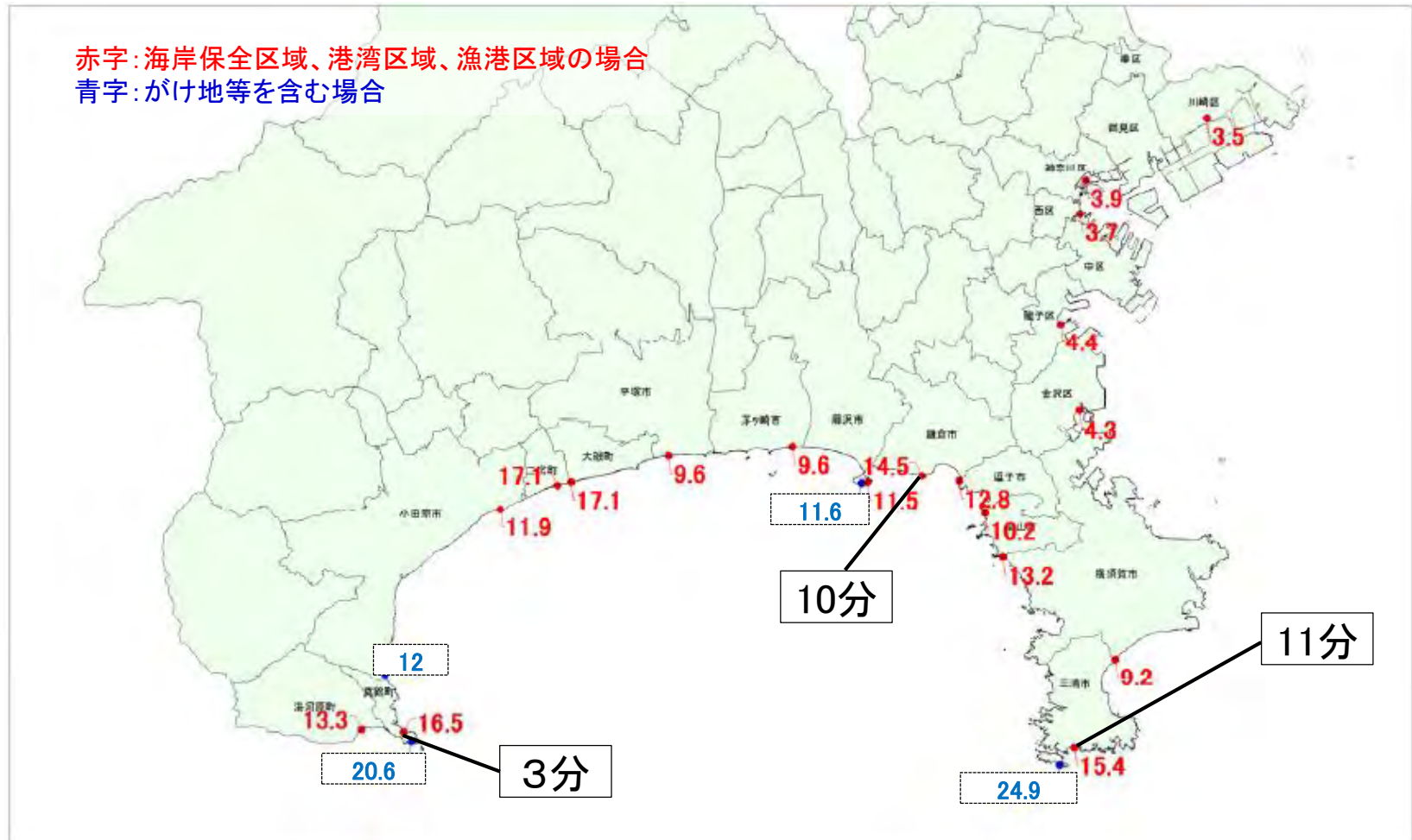


最大の浸水域と浸水深となるよう、5つの地震(最大クラス)の津波浸水予測図を重ね合わせて、1枚の図にまとめたもの。

着色の箇所が浸水区域で、色の違いで浸水深さを表示

1. 神奈川県自然災害リスク 津波

■ 市町村別最大津波高さ発生箇所(主に相模トラフ地震)



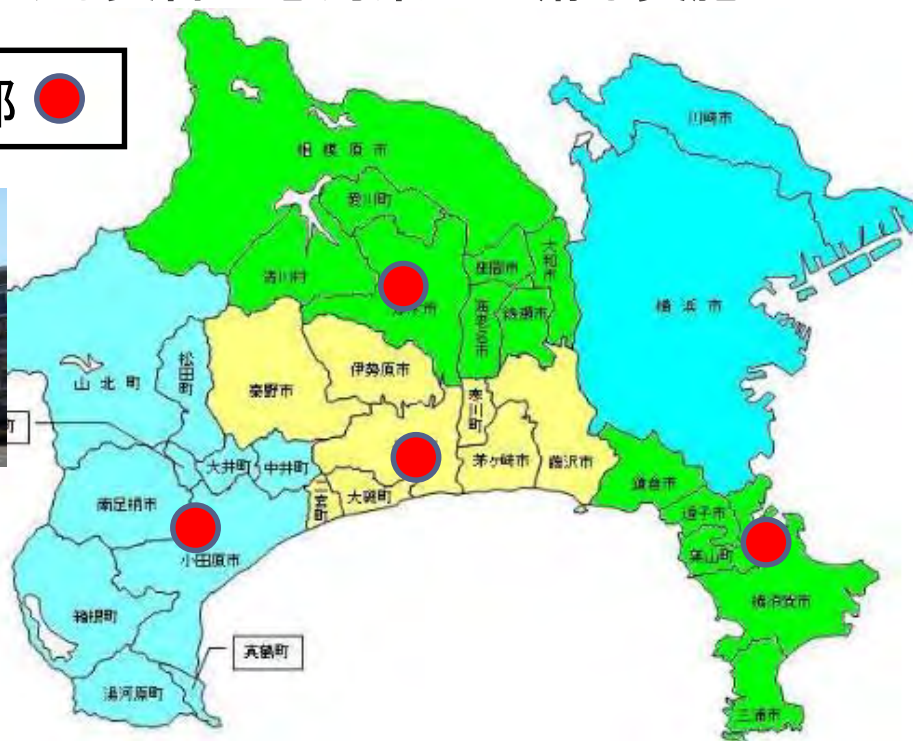
2. 神奈川県防災体制



2. 神奈川県防災体制

- 災害対策本部(県庁)
- 現地災害対策本部(4箇所)
- …地域における災害応急対策の円滑な実施

現地災害対策本部 ●



災害対策本部
(県庁)



2. 神奈川県防災体制



本部長(知事)

副本部長(副知事)

統制部(くらし安全防災局)

指令調整班(自衛隊、警察等の
応援受援、活動等の調整等)
広報・報道班、情報班、指令調整
班、市町村応援等

現地災害対策本部

災害活動中央基地
(総合防災センター)

政策部(政策局)

総務部(総務局)

健康医療部(健康医療局)

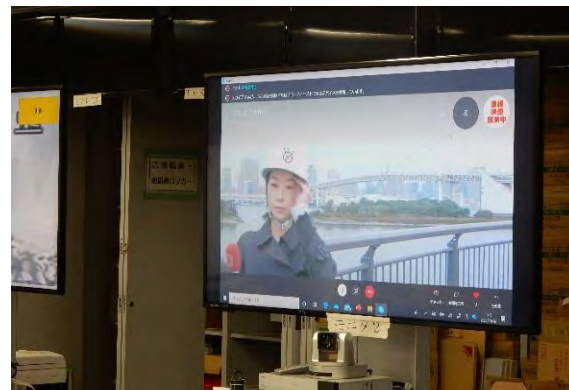
県土整備部(県土整備局)

警察本部(警察本部)

2. 神奈川県防災体制 県の情報収集活動

災害対策本部の司令塔
「統制部」の体制

災害時のイメージ
(くらし安全防災局)



統制部長

副部長

統制部長付

総務班

県民対応班

広報・報道班

市町村応援班

情報班

指令調整班

航空機運用調整班



○災害応急対策に必要な情報の集約

○災害情報提供事項のまとめ
被害状況、応急救護活動、避難所関係等

○災害対策本部会議の開催
-など

体制

7班
13チーム

2. 神奈川県防災体制



2.神奈川県防災体制



■ 広域連携

広域防災活動拠点
(8箇所)

総合防災センター

県庁
(災害対策本部)

県西部
資機材倉庫
(7箇所)

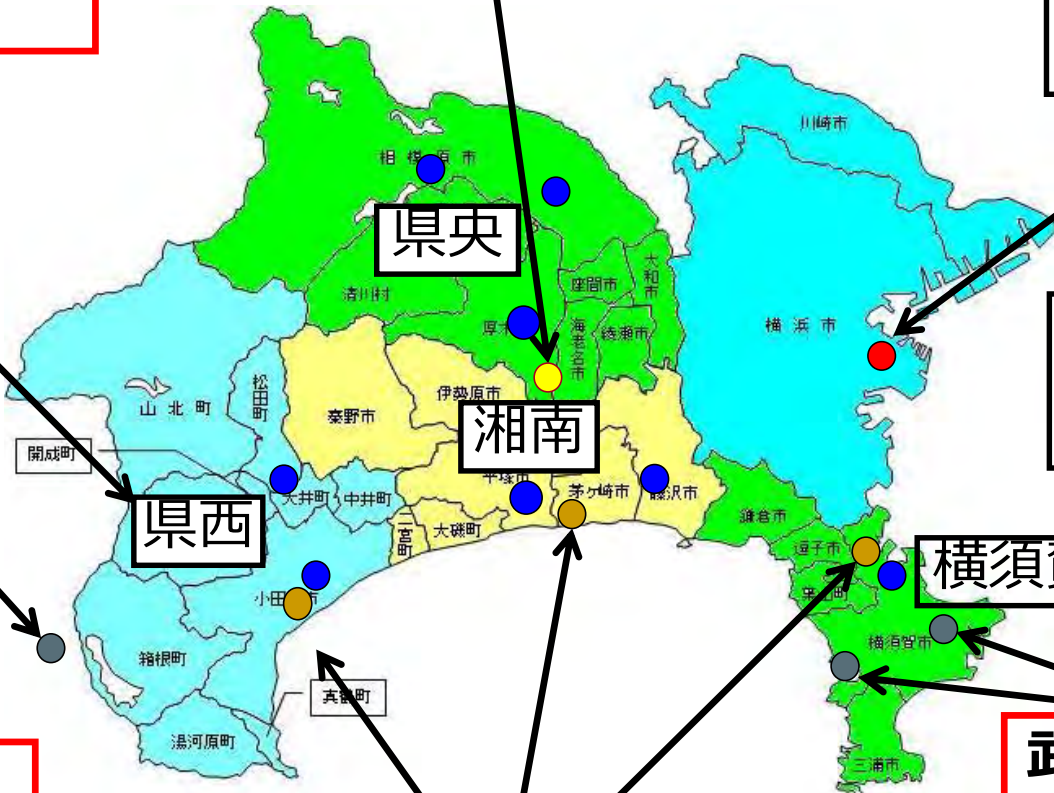
ヘリコプター
臨時離着陸場
(342箇所)

駒門資機材倉庫
(1箇所)

市町村の
広域応援活動拠点
(144箇所)

広域防災活動備蓄拠点(3箇所)

武山・久里浜
資機材倉庫
(2箇所)



3. 神奈川県における防災情報発信



3. 神奈川県における防災情報発信

① 紙媒体

- 県のたより（出水期の6月号で防災特集）
- 神奈川新聞（9月1日の防災の日）

② SNS等

- 県ホームページ（災害情報ポータルなど）
- Twitter
- 緊急速報メール

③ 記者発表

④ 防災協定

- 災害の危険が切迫している場合に、県政記者クラブやラジオ局との協定に基づき、県から発するメッセージをテレビ、ラジオ等で発信を要請する。

3. 神奈川県における防災情報の発信（例）

県のたより（令和4年6月号）

2 かながわのたより 令和4(2022)年 6月号 No.807 <https://www.pref.kanagawa.jp/taiyori/>からご覧ください。

「いのち」を守るために 家で

近 年、初夏から秋にかけて集中豪雨や大型台風による土砂災害・風水害が発生しています。昨年7月には大雨により、平塚市内に最も危険度が高い警戒レベル5「緊急安全確保」が発令されました。災害から「いのち」を守るためには、正しい知識の習得と早めの避難が重要です。また、今年3月に発生した福島県沖の地震の影響により、県内でも一部の地域で停電が起きました。災害時でも停電のないくらしに向けて、考えてみませんか。

土砂災害の前ぶれ

- 崖や地面にひび割れができる、崖や斜面から水が湧き出る
- 井戸や川の水が濁る、湧き水が止まる・濁る
- 小石がバラバラと落ちてくる、地鳴り・山鳴りがする
- 降雨が続くのに川の水位が下がる
- 樹木が傾く、立木が裂ける音や石がぶつかり合う音が聞こえる



ひとつでも当てはまったら
すぐに安全な場所に避難しましょう



県は、近年の集中豪雨や大型台風による土砂災害を防ぐため、防災工事を実施しています。<危険斜地対策対策事業>

日ごろからできること

- 1 市町村が公表しているハザードマップで災害の恐れのある危険な箇所や避難場所、避難経路を確認しておきましょう。
- 2 道路が寸断された場合を想定して、避難経路を複数確認しておきましょう。
- 3 家族で避難場所や連絡方法を、決めておきましょう。

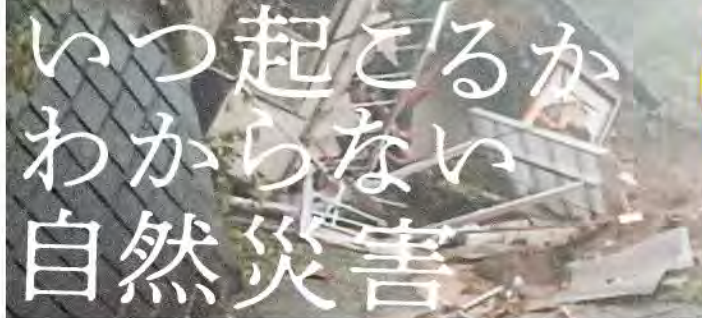
雨が降り始めたら、地震が起きたら…
下記のポータルで、さまざまな防災情報が確認できます。

防災の地域情報も 含めた総合サイト  

県災害情報ポータル  県土砂災害情報ポータル 

地震に備えて

巨大地震に備え、マイホームの耐震化/耐震診断
県は、市町村が行う耐震診断や耐震改修工事への補助の一環を実施し、住宅耐震化を促進しています。積極的に専門家の耐震診断を受け、必要があれば早急に改修しましょう。
※補助金は自治体によって異なりますので、詳細はお住まいの自治体担当課へお問い合わせください。



県民への緊急避難マニュアル 0008 県民のこころ **防災** (印刷は言語版です) <https://www.pref.kanagawa.jp/taiyori/>からご覧ください。

できる災害への備え。

逃げ遅れゼロを目指して
避難のタイミングを決めておきましょう


警戒レベル	行動を促す情報（避難情報等）	県民の皆さんがとるべき行動
5	緊急安全確保	身の危険が迫っているため県内に身の安全を確保する
4	避難指示	安全が確保できない恐れのある場所から避難する
3	高齢者等避難	高齢者や障がいのある方、乳幼児など「高齢者等避難」の対象となる方から避難する
2	大雨・洪水、高潮注意報（気象庁）	避難所に避難し、119や24時間災害対策センターに連絡する
1	大雨注意報（気象庁）	県民の死傷防止に留意するなど、留意のうえ生活を送る

安全な避難に向けて コロナ禍での避難に 当たっての注意事項

- 自宅が安全な場所であれば避難場所に行く必要はありません。また、警戒や相入宅への避難も考えましょう。
- 避難場所では、体調が崩れない方、発熱症状のある方は、速やかに退避スタッフに申し出てください。
- 避難場所では、マスク・消毒液・除菌剤が不足している場合がありますので、できるだけご自身で用意してください。
※感染防止のための間仕切りを設置するなど、感染症対策を行います。

もしもの時のために、この「かながわけんみん防災カード」と「かながわネズぼうさいカード」を携帯して、災害に備えましょう。

配布場所：
県危機管理防災課センター、県危機管理防災課
かながわ防災センター




災害時も 停電のないくらし!

太陽光発電や蓄電池を
設置しませんか。
県は、脱炭素に貢献し、災害時にも強い
他方となる太陽光発電と蓄電池を
普及させるため、「共同購入事業」
や「0円ソーラー」*1を実施しています。
また、電気自動車に貯めた電気を住宅
等に供給できる蓄電池（V2H充電電
気機）に対する補助も行っていきます。

- *1 太陽光発電等と一緒に設置することで補助額の
2割（上限2万円）が加算される。
- *2 共同購入方式での太陽光発電等設置できる自治体あり

【土曜日に開く防災講座】土曜 災害については県民総動員 0045(2)10-9958 00045(2)10-8897 / 防災情報については県民総動員 0045(2)10-9481 00045(2)10-8897
【避難所指定などへの対応】県民総動員 0045(2)10-9481 00045(2)10-8897 / 避難所指定については県民総動員 0045(2)10-9481 00045(2)10-8897
【災害時の生活必需品の確保】県民総動員 0045(2)10-9481 00045(2)10-8897 / 生活必需品の確保については県民総動員 0045(2)10-9481 00045(2)10-8897

3. 神奈川県における防災情報の発信（例）

Twitter投稿



神奈川県暮らし安全防災局危機管理... @saitai_kanag... · 8月12日 ...

【台風第8号に備えを！】台風第8号の接近に伴い、13日昼前から県内で激しい雨が見込まれています。

急斜面や崖の近く、増水した河川や荒れた海岸には近づかないようにしてください。

気象庁の気象情報や市町村の避難情報等に留意し、早めの避難行動をお願いします。

🗨️ 27 🍷 41 📤 📄

令和4年8月12日
台風第8号接近に伴う投稿

令和4年8月13日
台風第8号の接近による
大雨警報に伴う投稿



神奈川県暮らし安全防災局危機管理... @saitai_kanag... · 8月13日 ...

14時37分に、平塚市、小田原市、秦野市、大磯町、二宮町、中井町、大井町に大雨警報が発表されました。

bousai.pref.kanagawa.jp

低い土地の浸水や河川の氾濫、土砂崩れに注意するとともに、ハザードマップを確認し、くれぐれも急斜面や崖の近く、増水した河川に近づかないようにご注意ください。

🗨️ 1 🔄 32 🍷 38 📤 📄

令和4年8月27日
熱中症警戒アラート発令に伴う投稿



神奈川県暮らし安全防災局危機管理... @saitai_kanag... · 8月27日 ...

本日8月27日(土)、神奈川県に熱中症警戒アラートが発表されました。

不要不急の外出や屋外での運動はできるだけ避け、水分をこまめにとり、冷房を適切に使用するなどし、熱中症に十分注意して下さい。

高齢者や子どもなど、熱中症のリスクの高い方への声かけもお願いします。

🗨️ 33 🍷 47 📤 📄

3. 神奈川県における防災情報の発信～災害情報ポータルを紹介～

緊急情報

一覧

緊急情報はありません。

気象情報

土砂災害

地震

津波

火山

避難勧告

避難所

気象注意報 (2021/04/28 04:34発表)

横浜	強風注意報 乾燥注意報	川崎	強風注意報 乾燥注意報
相模原	乾燥注意報	横須賀	強風注意報 波浪注意報 乾燥注意報
平塚	強風注意報 乾燥注意報	鎌倉	強風注意報 乾燥注意報
藤沢	強風注意報 乾燥注意報	小田原	乾燥注意報
茅ヶ崎	強風注意報 乾燥注意報	逗子	強風注意報 乾燥注意報
三浦	強風注意報 波浪注意報 乾燥注意報	秦野	乾燥注意報
厚木	乾燥注意報	大和	乾燥注意報
伊勢原	乾燥注意報	海老名	乾燥注意報
座間	乾燥注意報	南足柄	乾燥注意報
綾瀬	乾燥注意報	茅山町	強風注意報 乾燥注意報
寒川町	乾燥注意報	大磯町	強風注意報 乾燥注意報
二宮町	強風注意報 乾燥注意報	中井町	乾燥注意報
大井町	乾燥注意報	松田町	乾燥注意報
山北町	乾燥注意報	開成町	乾燥注意報
箱根町	乾燥注意報	真鶴町	乾燥注意報
湯河原町	乾燥注意報	茅川町	乾燥注意報
清川村	乾燥注意報		

避難勧告・指示情報

一覧

避難勧告・指示情報はありません。

避難所情報

一覧

避難所情報はありません。

記者発表資料

一覧

過去72時間で発表された記者発表資料はありません。
それ以前の記者発表資料は、「一覧」から確認してください。

ハザードマップ

[洪水](#) [土砂災害](#) [津波](#) [火山\(箱根山\)](#) [火山\(富士山\)](#) [国土交通省ハザードマップポータルサイト](#)

ライブカメラ

[河川・海岸・港湾監視カメラ](#)

交通機関・ライフライン情報

[交通機関等運行状況\(防災官報圏ネット\)](#) [停電情報\(東京電力\)](#) [ガス情報\(東京ガス\)](#) [断水等情報](#)

市区町村名をクリックすると、市区町村毎の詳細画面に遷移します。
警報・注意報をクリックすると、気象庁HPの説明画面に遷移します。
[気象庁ホームページ\(気象警報・注意報\)](#)へのリンク

3. 神奈川県における防災情報の発信（例）

気象警報が発表されると県内の被害情報を収集し、結果を掲載

神奈川県災害情報ポータル

TOP > 詳細情報

記者発表資料詳細情報

4月17日大雨による県内の被害状況（第1報） **02時00分発表**

■被害状況※
※市町村（消防）や県警本部からの情報に基づき速報値として掲載したものであり、今後変更する可能性があります。

◆人的被害

死者(0名)
行方不明(0名)
重傷(0名)
軽傷(0名)

◆建物被害

全壊(0棟)
半壊(0棟)
一部破損(0棟)
床上浸水(0棟)
床下浸水(0棟)
非住家（公共建物）(0棟)
非住家（その他）(0棟)

◆その他被害
なし

■避難勧告等発令状況
なし

■土砂災害警戒情報発表状況
なし

神奈川県災害情報ポータル

TOP > 詳細情報

記者発表資料詳細情報

4月17日大雨による県内の被害状況（第2報） **03時30分発表**

■被害状況※ 令和3年4月18日 2時40分現在
※市町村（消防）や県警本部からの情報に基づき速報値として掲載したものであり、今後変更する可能性があります。

◆人的被害

死者(0名)
行方不明(0名)
重傷(0名)
軽傷(0名)

◆建物被害

全壊(0棟)
半壊(0棟)
一部破損(0棟)
床上浸水(0棟)
床下浸水(0棟)
非住家（公共建物）(0棟)
非住家（その他）(0棟)

◆その他被害
なし

■避難勧告等発令状況 令和3年4月18日 2時40分現在
なし

■土砂災害警戒情報発表状況 令和3年4月18日 2時40分現在
なし

4. 神奈川県におけるラジオの活用について



4. 神奈川県におけるラジオの活用について

レギュラー番組

KANAGAWA Muffin
(かながわマフィン)

色とりどりの神奈川県の旬な話題を好奇心旺盛なパーソナリティ金子桃さんが多彩なゲストを迎えてさわやかにお届け。

放送局など：FMエフマル（84.7MHz）、
毎週土曜、午前8時30分～8時55分

NHK-横浜FM
ひるまえのお知らせ

NHK-横浜FMにて神奈川県の情報をお伝えします。

放送局など：NHK-FM（81.9MHz）、
月～金、
午前11時50分～11時55分の3分程度。

5. ラジオの有効性について



5. ラジオの有効性について

スマートフォンの普及により、情報の受伝達手段の主役がスマートフォンになったが、災害時にラジオの利点としては、次のことが挙げられる。

- リスナーは受け身で、かつ画面を見る必要がないため、他の作業をしながら様々な情報を入手できる（いわゆる「**ながら聴取**」が可能）。
- 多くの**被災者に一斉に情報の提供が可能**なため、避難所等での情報提供に最適である。
- 乾電池で**長時間の稼働**が可能であり、停電時でも視聴可能。
- 情報の**信頼度が高い**（SNS等では、ガセネタも多く含まれている）。

6. ニッポン放送、エフエム ネットワークとの協定



6. ニッポン放送、エフエムネットワークとの協定

協定締結者：神奈川県
神奈川県エフエムネットワーク(18社)
株式会社ニッポン放送

協定締結日：令和2年10月28日

協定概要：情報の相互提供
出演者協力



Kanagawa Prefectural Government



6. ニッポン放送、エフエムネットワークとの協定

第1条（目的）

情報の相互提供、広報協力に係る相互連携協力について定め、もって災害時における広報力の強化を図ることを目的とする。（協定における連携）

第2条（情報の相互協定）

県は、神奈川エフエムネットワーク及びニッポン放送に対し、必要と認めるときは、災害に関する情報を提供することとする。（県民への情報提供すべき事項の速やかな発信）

第3条（平時の取組）

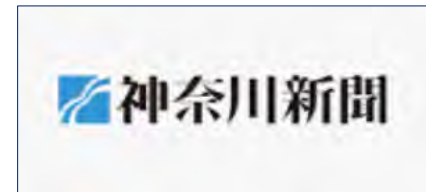
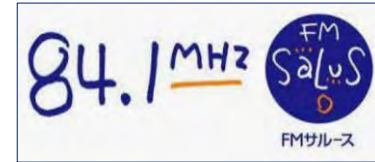
県は、神奈川エフエムネットワーク及びニッポン放送は、本協定の目的を達成するため、災害時に備えて行う訓練、研修及び必要な情報共有等に関し、平時から連携するよう努める。（連絡会の意義）

6. ニッポン放送、エフエムネットワークとの協定



令和2年10月28日

6. ニッポン放送、エフエムネットワークとの協定



7. 今後のラジオに期待すること



7. 今後のラジオに期待すること

- 地域のニーズに応じた、きめ細かな情報の発信。
- 正確な情報を分かり易く発信（特に高齢者向け）。
- 大勢の被災者を励ます、勇気づける放送の発信。



御静聴ありがとうございました。

